

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。ご意見をお聞かせください。



# しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会  
News

第68号

2017年10月6日  
編集責任者 元木計文  
047-355-8526  
部内資料

■ 29日の横浜市の桜木町駅前  
で志位委員長と衆院予定候補  
の演説より抜粋。

【しんぶん赤旗9月30日版より】



## 安倍首相にレッド・カード 日本共産党に力強い支援を！！

市民と野党の共闘の成功、日本共産党躍進で安倍政権を退場させ、新しい政治をつくろうと開かれた街頭演説で、志位和夫委員長は民進党が合流を決めた「希望の党」について、その顔ぶれや政治的主張を具体的に示して、明らかな「自民党政治の補完勢力」だと指摘し、こうした党への民進党の合流は、市民と野党の共闘の原点である安保法制廃止と立憲主義回復の旗印を投げ捨てた「重大な背信行為」だと批判。「安保法制廃止、立憲主義回復という“大義の旗”、そして“共闘の旗”をしっかりと掲げている日本共産党の躍進が、市民と野党の共闘を発展させ、日本の政治を良くする一番の力になります。どうか大きく躍進させてください」と呼びかけました。

衆議院が解散されました。

10月10日公示、10月22日投開票のあわただしい総選挙戦となります。ここまで5年間、安保法制・共謀罪・秘密保護法など数々の悪法を強行成立させ、悪政を重ねてきた安倍政権に審判を下す時がやってきました。

9月25日、解散を告げる記者会見で、安倍首相はいつもの尊大な調子でその理由らしきものをとうとうと述べていましたが、自・公の選挙結果の損得勘定以外に、私たち国民に伝わってくるものはありませんでした。

それもそのはず、今度の解散は、安倍首相自らによる「モリ・カケ」問題の拡大つぶしが最大の理由だからです。安倍首相とその妻・友人による国政の壟断（ろうだん）という非常に低俗な事件が表面化したものを、総選挙さわぎで覆い隠そうとする、これまた重大な国政利用に他なりません。戦後、最低のうすぎたない政治指導者ではありませんか。国民はこのことを直感しています。

また、安倍首相は総選挙を通じて「日本国憲法」を改悪するという野望を推し進めようとしています。明治以来の軍国主義の流れに終止符を打ち、先の大戦で日本人だけでも300万人という尊い命の犠牲の結晶として生まれた日本国憲法を、安倍首相ごとき者の手によって改変させてはなりません。



■ 10月1日 東京・新宿  
「さよなら安倍政権」  
新しい未来を求める若者  
らのデモ。【しんぶん赤  
旗10月2日版より】

彼自ら行った解散を、彼の意に反して、彼の退場の場にしようではありませんか。

選挙戦の構図は、日々・刻々と変わりつつあるようです。小が大を飲み込もうとして、希望の党が民進党を漂流させています。飲み込む条件は、安保法制や改憲に反対しない人物を選別するということだとか。

私たち日本共産党は、戦争しない・させない国、国民一人ひとりに豊かさがいきわたる施策を目指し、日々各方面で努力しています。

今度の総選挙、前回皆さんのお力添えにより1人から3人に躍進させていただいた、比例区・南関東ブロックでの4人目・5人目を目標に、選挙区では渡辺まさじ予定候補を先頭に雄々しく戦っています。右傾化を阻もうとするお力をこぞって日本共産党にお寄せください。心よりお願いいたします。

2017年10月5日 元木 計文

### 志位委員長街頭演説

▶ 10月13日（金）午後6時 津田沼駅北口

▶ 弁士  
志位委員長、さいとう・大西比例候補、  
県内全小選挙区候補

#### ■ 後援会・読者のみなさん

- ・ご家族やご近所、友人、お知り合いに共産党への支持をお広げ下さい。比例の1票は全国どこでも議席に結びつきます。
- ・比例代表は「日本共産党」または「共産党」とお書きください。「日本共産党」と書いた1票1票が、志位委員長、はたの君枝さん、さいとう和子さんの再選、さらに大西わたる候補の議席に結びつきます。

「空襲警報発令」

村上ますえ

「北朝鮮 ミサイル発射」

Jアラートを受けて警報発令

「次の地区は頑丈な建物や地下に避難するよう

北海道 秋田 青森……」

繰り返すラジオの前で 私ほうそぶく

72年前 こんなことが日常だったんだぞ

「空襲警報発令」

「敵機は日向灘を西へ……」

ラジオの声はともかく

不気味なサイレンに追い立てられ

防空壕へ駆け込む日々だった

湿っぽい壕のなかで 祖母と身を潜めた記憶が

間に合わないときは『伏せ』

親指で耳を 残りの指で目をふさぎ

地べたに伏せる その訓練で生き延びる

竹やり感覚の空襲だったから

それで済ませたろうが

「圧力」以外の対処を知らぬ政府は危機感をあおり

自治体に避難訓練までおしつける

それが昔ながらの『伏せ』とは笑止

低地に 頑丈な建物の中に 地下に

身を潜めろという

ミサイルが通過するのをひたすら祈る

神風頼みのあのときのように

「北朝鮮から発射されたミサイルは

先ほど北海道地方から太平洋へ通過した模様」

72年前ならさしづめこれが

「空襲警報解除」で安堵の一瞬

▶ あの日何が起きたのか！  
恐怖のJアラート ◀

茨城県の旧大洋村に滞在していた8月29日  
6時過ぎ、けたたましい携帯のアラーム音でたたき  
起こされた。大きな地震があったのかと思ったが、  
地震の時とは明らかにアラーム音が違う。携帯を見  
ると北朝鮮がミサイルを発射したとの「Jアラート」  
であった。その直後、重々しい男性の声で避難  
を告げる防災無線が聞こえてきた。テレビがなかつ  
たので携帯でニュースを見ようとしたが何度やっ  
てもアクセスできなかった。10分後、再び北海道  
上空通過を告げるJアラート。何故、茨城県なの  
にと思った。いたずらに恐怖心を煽る、安倍政権の過  
剰な演出を、私は体験した。(T. M)



首相はいつもの北朝鮮への非難と  
国民へのおためごかし 「国民の安全第一に」  
「被害は軽微」で済ました  
あの時代とどこが違うているか

養老溪谷バスツアー

浦安市後援会では、晩秋の養老溪谷を訪れ、滝をめぐりながら  
紅葉狩りを楽しむバスツアーを企画しました。ご家族、お知り合  
いの方お誘いのうえ、ご参加下さい。



- 日時 11月26日(日)(雨天決行)  
※集合場所・時間(予定)  
・千葉銀行前(8:15) ⇒ 富岡公民館前(8:30) ⇒  
新浦安駅前・シンボルロード入船東エステート前(8:40)
- 順路  
・養老溪谷 ~ 滝めぐり遊歩道散策 ~ ごりやく亭(昼食) ~  
ごりやくの湯(希望者のみ: 1,050円個人負担)
- 参加費(往復バス・高速代、昼食代/バーベキュー、  
飲み物/ソフトドリンク込み)  
・大人: 5,000円、中学生以下: 1,500円、  
夫婦割(2人分): 9,000円、幼児: 無料
- 参加申込み/問い合わせ  
元木 355-8526、松木 354-9212

合唱団「楽歌声」  
10周年記念コンサート



- 日時  
10月22日(日) 開場 13時  
開演 13時30分
- 場所  
浦安音楽ホール・ハーモニーホール(4F)  
(入場 無料)
- プログラム  
▶ 第1部(全8曲)  
・浦安市民の歌、タンポポ、白樺(女性合唱)、  
ざわめけバイカル(男性合唱)、あわて床屋、  
津軽のふるさと、あの鐘を鳴らすのはあなた、鉄路
- ▶ 第2部(メゾソプラノ・独唱 全7曲)  
・赤い花・白い花、波の子守歌、一本の鉛筆 他
- ▶ 第3部(創作曲でつづる合唱曲 全8曲)  
・仲間たち I~II、母の詩、現在(いま)を生きる、  
潮風につつまれて 他